

注 ※印の演習担当教員を希望する場合は、事前に大学院入試グループへ相談してください。
演習担当教員は変更することがあります。
 なお、変更が生じた場合は、大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。
 <<https://kansai-gradsch.kansai-u.ac.jp/>>
 演習担当教員は、出願時の希望を考慮のうえ、研究科が決定します。(2026年4月現在)

2027年度 外国語教育学研究科演習担当教員（指導教員）一覧（博士課程前期課程）＜予定＞

研究対象言語	領域	教員名	指導が可能な分野
英 語	外国語教育学領域	池 田 真生子	英語教育学（学習方略、動機づけ、自己効力感、エンゲージメントなどの学習者要因、自己調整学習、小学校英語）
		今 井 裕 之	英語教育学（英語授業研究、教師教育研究、教材開発研究、スピーキング指導）
		新 谷 奈津子 ※	第二言語習得、ライティング指導法、タスク中心教授法、文法指導、第二言語語用論、学習者の個人差、児童英語教育
		竹 内 理	英語教育学（学習方略、動機づけ、自己効力感、不安などの学習者要因、教員養成）、自律学習・自己調整学習、教育メディア研究（AI 活用、遠隔学習、映像利用、教材作製）、小学校英語、テストング研究
		田 村 祐	第二言語習得、心理言語学（第二言語の文処理、第二言語の語彙処理）、タスク・ベースの言語指導
		名部井 敏 代	英語教育学、第二言語習得（教室内インタラクション、フィードバックの効果、学習過程の学習者意識）
		サイモン・ハンフリーズ	外国語教育・応用言語学（文化、アイデンティティと感情が教授法に与える影響；カリキュラム開発に影響を与える要因）
		水 本 篤	教育におけるAIの活用、コーパス研究、語彙研究、言語テストング、学習方略、研究方法論
		山 下 太 一	言語テストング、コンピュータ支援言語学習、第二言語ライティング、研究方法論
		大 和 知 史	英語教育学（英語発音指導／英語音声指導／プロソディの指導と学習）
		羅門田 クリス	比喩表現（メタファー・メトニミー・イディオム）、語彙習得、多読、教材開発
		阿 南 順 子 ※	日本文化論、演劇・パフォーマンス学、ジェンダー・セクシュアリティ論
	異文化コミュニケーション学領域	トッド・アレन	英語および日本語の第一言語／第二言語の社会語用論、談話分析、異文化コミュニケーションと教育、言語民族誌、質的研究方法
		田 島 慎 朗	コミュニケーション学、異文化間コミュニケーション（批判的・文化的アプローチ）、スピーチ・コミュニケーション教育、レトリック研究
		アンドリュー・パーク	言語と文化、日英対照言語学（異文化理解、L2の語用論的能力、談話分析、社会言語学、アイデンティティの言語的構築など）
		サイモン・ハンフリーズ	異文化コミュニケーション（学習者の英語発話能力、英語以外の外国語の発話能力に影響を与える要因；留学による学習者のアイデンティティの変化）
		榎 本 智 子	コミュニケーション学、異文化間コミュニケーション
		守 崎 誠 一	異文化コミュニケーション学（コミュニケーション行動に与える文化の影響、異文化不適応・適応、文化的価値観、異文化間コミュニケーション能力）
	通訳翻訳学領域 注1)	明 石 元 子	文芸翻訳・翻訳者の社会的及び歴史的考察、翻訳理論、翻訳テキスト分析
		阪 本 章 子	翻訳（または翻訳テクノロジー）の社会的考察、翻訳理論、翻訳テキスト分析（字幕翻訳を含む）、翻訳者教育
日 本 語	外国語教育学領域	阿 南 順 子 ※	日本文化論、演劇・パフォーマンス学、ジェンダー・セクシュアリティ論
		伊 澤 明 香	日本語教育学、地域日本語教育、年少者日本語教育、母語・継承語教育、バイリンガル教育
		嶋 津 百 代	日本語教育学、ディスコース分析（ナラティブ）
		高 梨 信 乃	日本語教育学、日本語学（現代日本語文法）
		アンドリュー・パーク	日本語の語用論、社会言語学、談話分析（L2の語用論的能力、談話分析、社会言語学、アイデンティティの言語的構築など）
	異文化コミュニケーション学領域	阿 南 順 子 ※	日本文化論、演劇・パフォーマンス学、ジェンダー・セクシュアリティ論
		田 島 慎 朗	コミュニケーション学、異文化間コミュニケーション（批判的・文化的アプローチ）、スピーチ・コミュニケーション教育、レトリック研究
		アンドリュー・パーク	言語と文化、日英対照言語学（異文化理解、L2の語用論的能力、談話分析、社会言語学、アイデンティティの言語的構築など）
		榎 本 智 子	コミュニケーション学、異文化間コミュニケーション
		守 崎 誠 一	異文化コミュニケーション学（コミュニケーション行動に与える文化の影響、異文化不適応・適応、文化的価値観、異文化間コミュニケーション能力）
	通訳翻訳学領域 注1)	明 石 元 子	文芸翻訳・翻訳者の社会的及び歴史的考察、翻訳理論、翻訳テキスト分析
		阪 本 章 子	翻訳（または翻訳テクノロジー）の社会的考察、翻訳理論、翻訳テキスト分析（字幕翻訳を含む）、翻訳者教育
ドイ ツ 語	外国語教育学領域	高 橋 秀 彰	ドイツ語学、ドイツ語教育学
	異文化コミュニケーション学領域	高 橋 秀 彰	ドイツ語圏の社会言語学（言語政策、移民の言語、態度、アイデンティティーなど）
中 国 語	外国語教育学領域	小 嶋 美由紀	中国語学（現代中国語文法）、日中対照言語学（中国語教育への応用を目指した中国語と日本語の比較）
朝 鮮 語	外国語教育学領域	松 岡 雄 太	朝鮮語学（記述言語学・社会言語学）、朝鮮語教育学（対照言語学）

注1) 主に扱う言語のペアは「英←→日」です。研究対象言語は、口頭試問において決定します。これについて質問がある場合は、事前に指導を希望する教員に問い合わせてください。

教員の追加と、指導が可能な分野を一部変更しました。

注 ※印の演習担当教員を希望する場合は、事前に大学院入試グループへ相談してください。
演習担当教員は変更することがあります。
なお、変更が生じた場合は、大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認
ください。

<<https://kansaignradsch.kansai-u.ac.jp/>>

演習担当教員は、出願時の希望を考慮のうえ、研究科が決定します。 (2026年4月現在)

2027年度 外国語教育学研究科演習担当教員（指導教員）一覧（博士課程後期課程）＜予定＞

研究対象 言語	教員名	指導が可能な分野
英 語	池 田 真生子	英語教育学（学習方略、動機づけ、自己効力感、エンゲージメントなどの学習者要因、自己調整学習、小学校英語）
	阪 本 章 子 注1)	翻訳（または翻訳テクノロジー）の社会学的考察、翻訳理論、翻訳テキスト分析（字幕翻訳を含む）、翻訳者教育
	新 谷 奈津子 ※	第二言語習得、ライティング指導法、タスク中心教授法、文法指導、第二言語語用論、学習者の個人差、児童英語教育
	竹 内 理 ※	英語教育学（学習方略、動機づけ、自己効力感、不安などの学習者要因、教員養成）、自律学習・自己調整学習、教育メディア研究（AI 活用、遠隔学習、映像利用）、小学校英語、テスト研究
	名部井 敏 代	英語教育学、第二言語習得（教室内インタラクション、フィードバックの効果、学習過程の学習者意識）
	水 本 篤	教育におけるAIの活用、コーパスの教育利用、コンピュータを利用した言語学習（CALL）、学習方略、言語テスト、ESP/EAP、語彙学習・指導、研究方法論
	守 崎 誠 一	異文化間コミュニケーション学（コミュニケーション行動に与える文化の影響、異文化不適応・適応、異文化間コミュニケーション能力）
	大 和 知 史	英語教育学（英語発音指導／英語音声指導／プロソディの指導と学習）
日本語	阪 本 章 子 注1)	翻訳（または翻訳テクノロジー）の社会学的考察、翻訳理論、翻訳テキスト分析（字幕翻訳を含む）、翻訳者教育
	嶋 津 百 代	日本語教育学、ディスコース分析（ナラティブ）
	高 梨 信 乃	日本語教育学、日本語学（現代日本語文法）
	守 崎 誠 一	異文化間コミュニケーション学（コミュニケーション行動に与える文化の影響、異文化不適応・適応、異文化間コミュニケーション能力）
ドイツ語	高 橋 秀 彰	ドイツ語圏の社会言語学（言語政策、移民の言語、態度、アイデンティティなど）、ドイツ語学、ドイツ語教育学
朝鮮語	松 岡 雄 太	朝鮮語学（記述言語学・社会言語学）、朝鮮語教育学（対照言語学）

注1) 主に扱う言語のペアは「英←→日」です。研究対象言語は、口頭試問において決定します。これについて質問がある場合は、事前に指導を希望する教員に問い合わせてください。

教員を追加しました。

V 出願書類に関する注意事項

受理した書類は返却いたしません。

I 志望理由書について

- (1) 原則、PDF のフォーム機能を使用し、パソコン等で本学所定用紙を改変することなく入力の上、印刷してください。ただし、正しく入力できない場合やフォーム機能が設定されていない箇所については、印刷後、手書きで記入してください。

なお、手書きの場合、必ず黒のインクまたはボールペン（消せるボールペンは除く）で記入してください。

- (2) 次の①～③を参照の上、各自が志望する研究対象言語、志望領域（博士課程前期課程のみ）、志望演習担当教員を選択してください。

① **博士課程前期課程** 本募集要項 29ページ

「2027年度 外国語教育学研究科 演習担当教員（指導教員）一覧（博士課程前期課程）＜予定＞」

※志望演習担当教員は必ず第2志望まで選択してください（研究対象言語がドイツ語・中国語・朝鮮語の場合を除く）。

通訳翻訳学領域を志望する方も対象になりました。

※通訳翻訳学領域を志望する場合の研究対象言語は、「その他」を選択してください。

※演習担当教員は入学時に決定します。

※演習担当教員は、各自の希望を考慮しますが、研究指導上の観点から変更する場合があります。

※授業科目は、決定領域以外の科目も履修することが可能です。

博士課程後期課程 本募集要項 49ページ

「2027年度 外国語教育学研究科 演習担当教員（指導教員）一覧（博士課程後期課程）＜予定＞」

※第2志望の演習担当教員がない場合は、「なし」と記入してください。

※演習担当教員は、各自の希望を考慮したうえで入学時に決定します。

※後期課程では領域を設けていません。

② 外国語教育学研究科ウェブサイト (<https://www.kansai-u.ac.jp/fl/graduate/>)

③ 関西大学大学院Information

- (3) 受験外国語は、本要項に従い選択してください。

ただし、一般入学試験（アストンDDプログラム）、飛び級入学試験、現職教員1年制入学試験では、筆記試験（外国語）を行いませんので選択は不要です。

- (4) 出願後、研究対象言語、志望領域・演習担当教員および受験外国語の変更は一切認めません。

- (5) 学歴事項欄には通学したすべての教育機関（小学校～大学・大学院）について古い順番に記入してください。大学・大学院の経歴、転学部・編入学・留学等（科目等履修生を含む）の経歴がある場合はすべて記入してください。また、日本語学校や研究生としての所属大学・大学院についても記入してください。なお、大学・大学院における学部・学科名および研究科・専攻名は証明書記載の内容と一致するよう、省略せず、正しく記入してください。

- (6) 卒業（修士）論文論題欄は、仮題でもかまいませんので必ず記入してください。なお、卒業（修士）論文が未定の場合は「未定」、ない場合は「なし」と記入してください。また、指導教員がない場合は、「なし」と記入してください。